

(参考様式 6 - 1)

農山漁村振興交付金（農山漁村活性化整備対策）
佐呂間地区活性化計画 改善計画書

平成30年8月31日作成

| | | | | |
|-------------|---|-------|------------|------|
| 都道府県名 | 計画主体名 | 地区名 | 計画期間 | 実施期間 |
| 北海道 | 佐呂間町 | 佐呂間地区 | H22～H25 | H23 |
| 事業メニュー名 | 事業内容及び事業量 | | 事業実施主体 | |
| 乾燥調製貯蔵施設 | 土地造成、調査設計費、飼料調整棟1棟、飼料貯蔵施設31基、サイレージ取出機2台、フォークリフト1台、圧縮梱包設備2台、飼料タンク17基、飼料混合機2台、各付属装置 | | 佐呂間町農業協同組合 | |
| 高生産性農業用機械施設 | 自走モアコン1台、堆肥散布機1台、尿散布機1台 | | 佐呂間町農業協同組合 | |

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

| 事業活用活性化計画目標 | 目標値 A | 実績値 B | 達成率 (%) B / A | 備考 |
|-------------|-------|-------|------------------|----|
| 地域産物の販売量の増加 | 2.94 | -3.12 | -106.1 | |

(記入例) 交流人口の増加の場合

目標値 A = (目標値 / 現状値) × 100 - 100、実績値 B = (実績値 / 現状値) × 100 - 100

2 目標が達成されなかった要因

| |
|--|
| <p>■ 地域産物の販売量の増加</p> <p>農業情勢の変化や家族形態に基づく高齢農家等の離農により出荷戸数の減少及び搾乳牛頭数の減少（農家戸数：平成26年94戸⇒平成29年84戸、搾乳牛頭数：平成26年5,084頭⇒平成29年4,801頭）</p> |
|--|

3 目標達成に向けた方策

| | |
|----------|---|
| 目標達成予定年度 | 平成33年度 |
| 事業の推進体制 | 町・農協・普及センター等、関係機関との連携を図る |
| 具体的取組方策 | <p>■ 地域産物の販売量の増加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 生乳増産に向けて規模拡大経営の積極的推進をはじめ、乾乳・育成舎の整備や牛の飼養環境整備を推進し、繁殖性や乳量・乳質向上に向けた技術指導を関係機関と連携し取り組む。 ・ 異物混入（加水）による生乳破棄を削減するための送乳ホース検知装置等の設置を推進する。 ・ 良質粗飼料の確保のため、暗渠排水、草地更新、心破等の土地改良を計画的に進める。 |

4 改善計画に対する第三者の意見

(コメント)

畜産クラスター事業で経営規模の拡大や新規参入など、離農による出荷戸数の減少を補う動きがあり、さらには楽酪事業や楽酪 GO 事業で、飼養管理に係る機械設備を導入することにより、酪農家の労働条件の改善に伴いゆとりの出来た時間を利用して、乳用後継牛の確保や経産牛の長命連産の実現の経営上の課題に取り組むことができるなど、生乳の販売量増加の目標達成が期待できる。

佐呂間町農業委員会 会長 佐野敏治

【記入要領】

- ※ 達成率等算出根拠（参考様式6－1添付資料）を必ず添付すること。
- ※ 第三者とは「当事者以外の者」「その事柄に直接関係していない人」であり、計画主体、事業実施主体、管理主体のいずれの組織にも属さない者で事業地区を熟知している者。公務員は対象外とし、事業評価委員会等の組織を有する場合は積極的に活用すること。